

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

## 安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

<b>警告</b>	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
<b>注意</b>	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

## ■施工上のご注意

<b>警告</b>	
	設置・連結を行う際は、必ず2人以上で作業してください。けがの原因になります。
	アンカーボルトは必ずM12を使用してください。地震などで転倒・破損の原因になります。
<b>注意</b>	
	ラック本体が水平に設置できるように、調整部材でレベル調整してください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

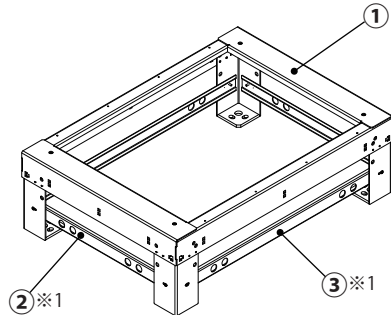
## ■使用上のご注意

<b>警告</b>											
	<p>次のような場所では使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高温、高温となる場所</li> <li>・腐食性ガスのある場所</li> <li>・可燃性ガスのある場所</li> <li>・振動、衝撃のある場所</li> <li>・塵埃やオイルミストが多い場所</li> <li>・ノイズ、電界、磁界の強い場所</li> <li>・水滴のかかる場所</li> </ul> <p>本製品はFSシリーズ、ARCシリーズ以外のラック本体には使用しないでください。転倒・破損の原因になります。</p>										
	<p>本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりへコミや歪みが発生し、強度低下の原因になります。</p> <p>使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M8</td> <td>7.6 ~ 10.8</td> </tr> <tr> <td>M10</td> <td>19.6 ~ 29.4</td> </tr> <tr> <td>M12</td> <td>33.8 ~ 51.0</td> </tr> <tr> <td>M22</td> <td>150 ~ 250</td> </tr> </tbody> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	M8	7.6 ~ 10.8	M10	19.6 ~ 29.4	M12	33.8 ~ 51.0	M22	150 ~ 250
ねじの呼び	適正締付トルク N・m										
M8	7.6 ~ 10.8										
M10	19.6 ~ 29.4										
M12	33.8 ~ 51.0										
M22	150 ~ 250										

## ■各部の名称・仕様

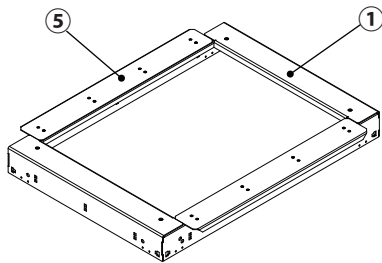
部品名	材質	板厚 mm	数量	適用機種
① 基台本体	鉄	3.2、9.0	1 台	全機種
② 配線バーヨコ	〃	2.3	2 本	RDK※1
③ 配線バーフカサ	〃	〃	2 本	RDK-A※2 RDK-AT
④ アジャスタ	〃	6.0	4 コ	RDK-A、RDK-AT
⑤ 連結板	〃	2.3	2 枚	RDK-J

### 【RDK】

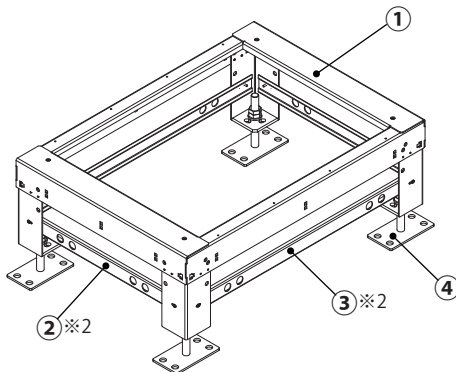


※1. タテ 200mm以下の製品には配線バーはありません。

### 連結タイプ【RDK-J】

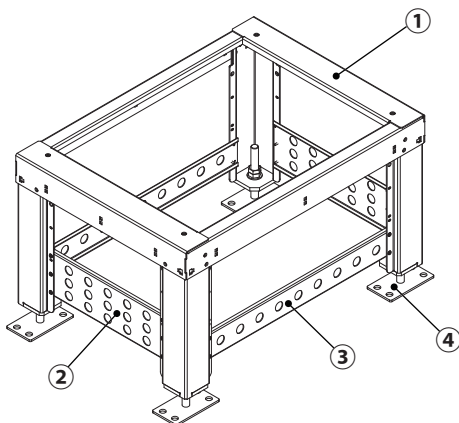


### レベル調整タイプ【RDK-A】



※2. タテ 300mm以下の製品には配線バーはありません。

### レベル調整耐震タイプ【RDK-AT】



### ●付属品

名称	数量	備考
六角ボルト M10×50	6 コ	ラック取付用：4 コ 基台連結用：2 コ
ばね座金 10	6 コ	
平座金 10	6 コ	
六角ナット M10	2 コ	基台連結用
ゴムスペーサ※	2 コ	—
取扱説明書(本紙)	1 部	—

※H=100 タイプには付属されていません。

### ●付属品

名称	数量	備考
六角ボルト M10×50	6 コ	ラック取付用：4 コ 基台連結用：2 コ
ばね座金 10	6 コ	
平座金 10	6 コ	
六角ナット M10	2 コ	基台連結用
取扱説明書(本紙)	1 部	—

### ●付属品

名称	数量	備考
六角ボルト M10×50	6 コ	ラック取付用：4 コ 基台連結用：2 コ
ばね座金 10	6 コ	
平座金 10	6 コ	
六角ナット M10	2 コ	基台連結用
六角ナット M22	4 コ	アジャスタ取付用
ハードロックナット M22 上(凹側)	4 コ	
ハードロックナット M22 下(凸側)	4 コ	
平座金 22	8 コ	—
ゴムスペーサ	2 コ	—
取扱説明書(本紙)	1 部	—

### ●付属品

名称	数量	備考
六角ボルト M12×50	4 コ	ラック取付用
ばね座金 12	4 コ	
平座金 12	4 コ	
六角ボルト M10×40	2 コ	基台連結用
ばね座金 10	2 コ	
平座金 10	4 コ	
六角ナット M10	2 コ	アジャスタ取付用
六角ナット M22	4 コ	
ハードロックナット M22 上(凹側)	4 コ	
ハードロックナット M22 下(凸側)	4 コ	—
平座金 22	8 コ	—
ゴムスペーサ	2 コ	—
取扱説明書(本紙)	1 部	—

## ■アジャスタの取付方法

【対象機種：RDK-A、RDK-AT】

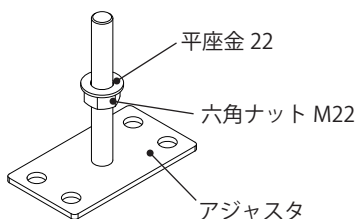
### ⚠ 注意

ラック本体が水平に設置できるように、調整部材でレベル調整してください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

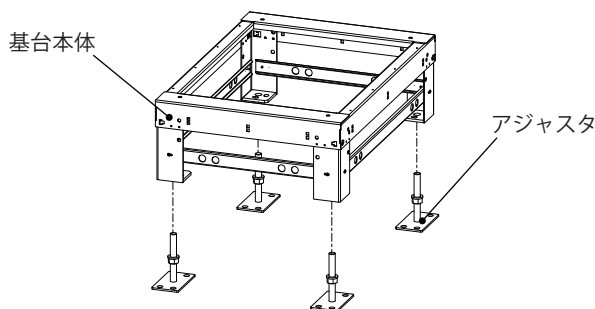
取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M22	150 ~ 250

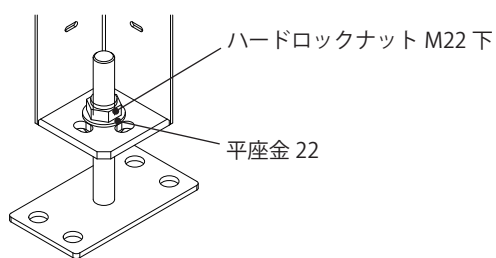
1. アジャスタに六角ナット M22、平座金 22 を取付けてください。  
その際、基台が適正な高さになるように位置決めを行ってください。



2. アジャスタを基台本体に差込んでください。



3. 平座金 22、ハードロックナット M22 下 (凸側) で仮止めしてください。



4. 基台の高さ調整、水平出しを行ってください。

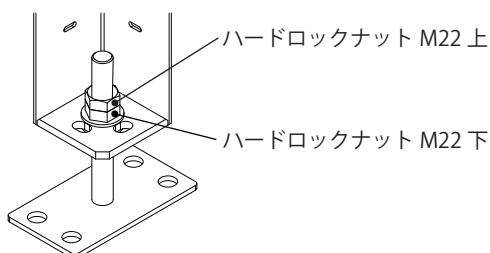
#### 【下げる場合】

六角ナット M22 をゆるめ、ハードロックナット M22 下 (凸側) を締付けてください。

#### 【上げる場合】

ハードロックナット M22 下 (凸側) をゆるめ、六角ナット M22 を締付けてください。

5. アンカー施工後にハードロックナット M22 下 (凸側) を締め、その上からハードロックナット上 (凹側) で締付けて固定してください。



## ■設置方法

### ⚠警告



設置・連結を行う際は、必ず2人以上で作業をしてください。  
けがの原因になります。



アンカーボルトは必ずM12を使用してください。  
地震などで転倒・破損の原因になります。

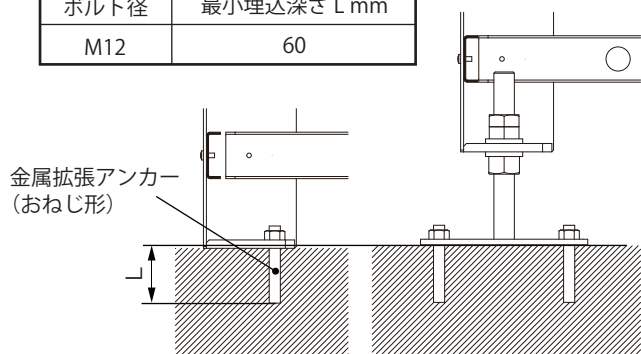
### ⚠注意



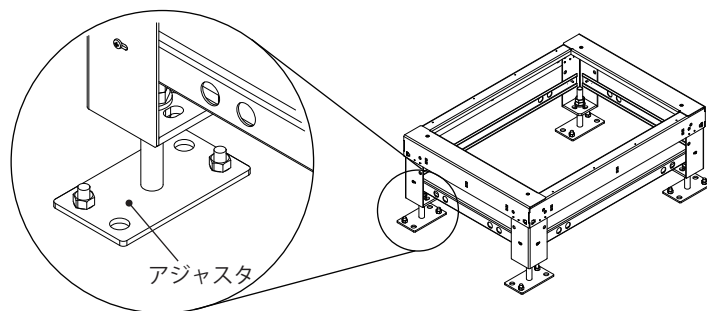
ラック本体が水平に設置できるように、調整部材でレベル調整してください。  
ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

基台本体底面またはアジャスタのアンカーボルト取付穴に、M12 アンカーボルトで床面に固定してください。  
アジャスタを使用する場合は、対角に2ヵ所アンカー固定してください。

ボルト径	最小埋込深さ L mm
M12	60



あと施工アンカー施工例



## ■連結方法

### ⚠警告



連結を行う際は、必ず2人以上で作業してください。  
けがの原因になります。

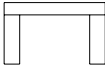


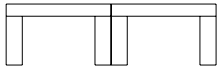



### ⚠注意



取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。  
ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。  
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M10	19.6 ~ 29.4

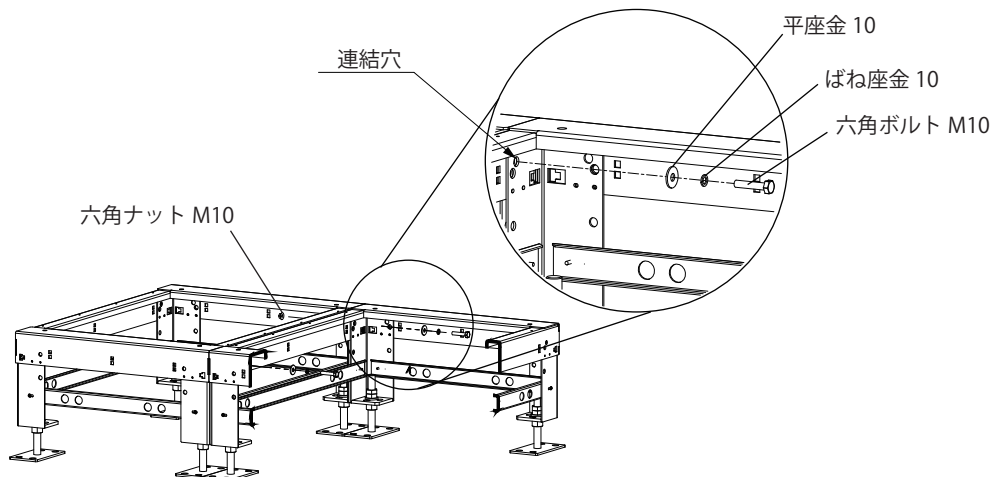
### ●連結組合せ表

連結数	イメージ図	RDK、RDK-A 必要数 	RDK-J 必要数 
単体		1	—
2 連結		2	—
3 連結		2	1
4 連結		3	1
5 連結		3	2

【RDK】(H=100)およびレベル調整耐震タイプ【RDK-AT】は連結タイプ【RDK-J】と組み合わせができません。

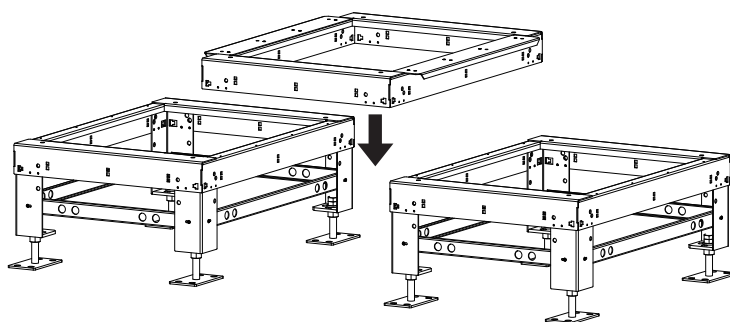
## 【単体の連結】

1. 基台の連結面に隙間がないように設置してください。
2. 基台側面の連結穴(2カ所)に付属の六角ボルト M10、六角ナット M10、ばね座金 10、平座金 10 にて固定してください。

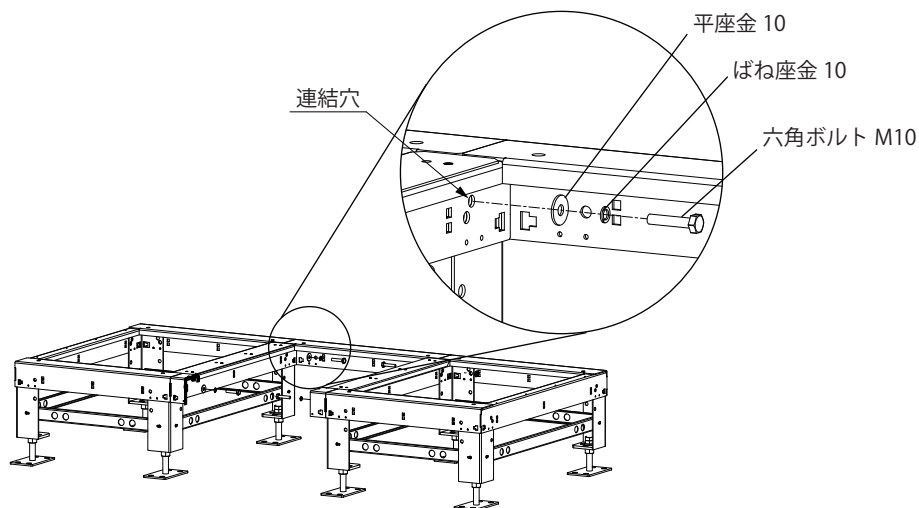


## 【連結タイプ【RDJ】使用時】

1. 【RDJ】またはレベル調整タイプ【RDJ-A】の間に、連結タイプ【RDJ】をはめ込んでください。



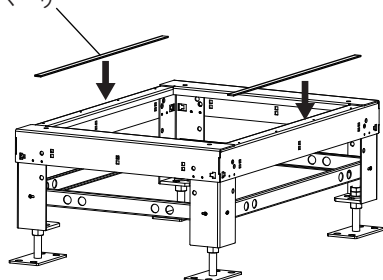
2. 基台側面の連結穴(2カ所)に付属の六角ボルト M10、六角ナット M10、ばね座金 10、平座金 10 にて固定してください。



## ■ゴムスペーサの取付方法

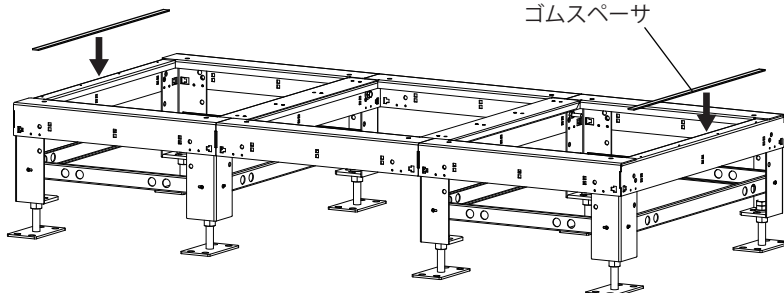
付属のゴムスペーサを基台上面の段差部分に貼付けてください。

ゴムスペーサ



単体の場合

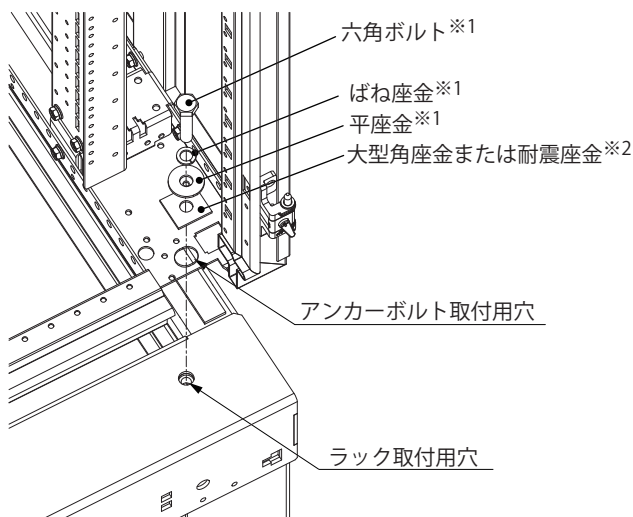
ゴムスペーサ



連結タイプ使用の場合

## ■ラックの設置方法

1. ラック本体のアンカーボルト取付用穴(4カ所)と基台のラック取付用穴(4カ所)の位置が合うようにラック本体を基台の上に載せてください。
2. 付属の六角ボルト、ばね座金、平座金とラック付属品の大型角座金または耐震座金にて固定してください。



※1.【RDK】、レベル調整タイプ【RDK-A】、連結タイプ【RDK-J】は M10、レベル調整耐震タイプ【RDK-AT】は M12 の六角ボルト、ばね座金、平座金を使用してください。

※2. ARC シリーズへの取付け時は使用しません。

### ⚠ 注意



取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。  
ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。  
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

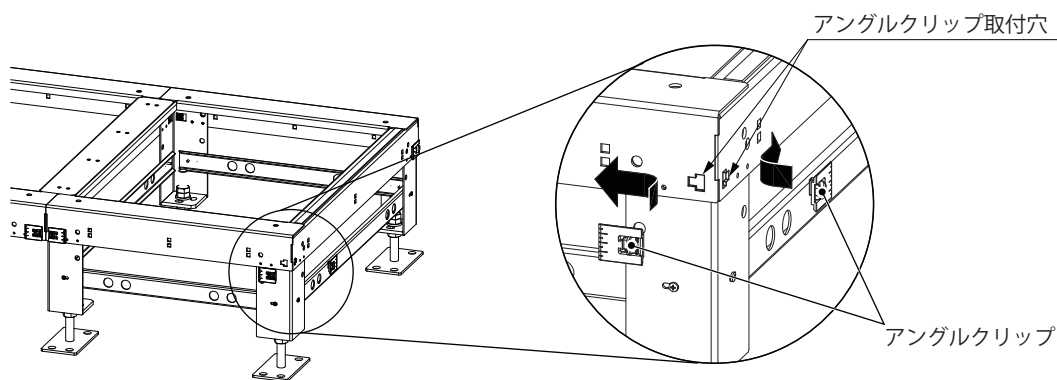
ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M10	19.6 ~ 29.4
M12	33.8 ~ 51.0

## ■オプション

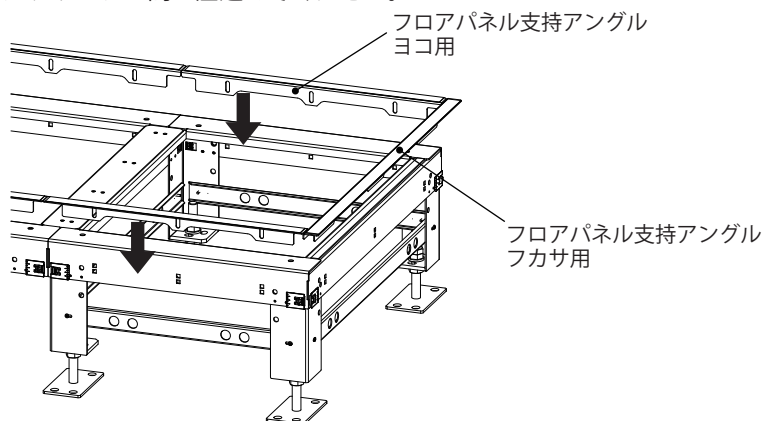
### ●フロアパネル支持アングル【RDK1-□】

#### 【取付方法】

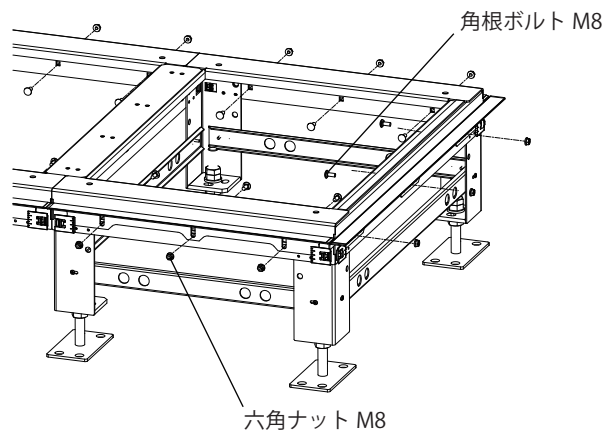
1. アングルクリップを基台のアングルクリップ取付穴に取付けてください。



2. フロアパネル支持アングルをアングルクリップの間に差込んでください。

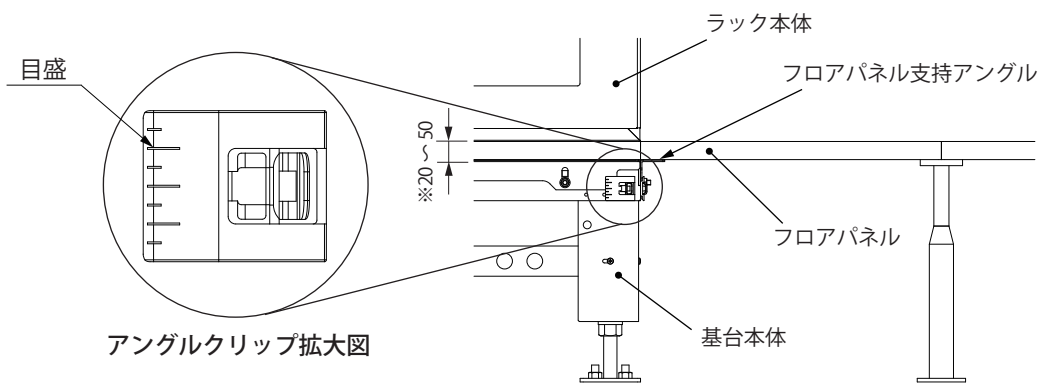


3. 付属の角根ボルト M8、六角ナット M8 にて仮止めしてください。



4. アングルクリップの目盛を参考にして、フロアパネルの厚さに合わせて位置調整を行ってください。

(単位：mm)



※RDK(H=100)の場合は、20～40mm となります。

5.3 で仮止めした六角ナット M8 を本締めしてフロアパネル支持アングルを固定してください。

### ⚠ 注意



取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。  
ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。  
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M8	7.8 ~ 10.8

## MEMO

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。  
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。  
この説明書の内容は 2014 年 2 月現在のものです。

C471001924